

八尾高校 35 期生 松村康隆さんとともに

平成 29 年 3 月 3 日（金）八尾高校 35 期生の松村康隆さんと校長室でお目にかかった。

松村氏は同窓会副会長を務め、また学校協議会の委員もお願いしています。

また、バレーボール部の OB、OG 会の副会長も務めておられます。

毎年 9 月に行われる「八尾河内音頭まつり実行委員会 実行委員長」もされ、今年の 40 周年には河内音頭で世界記録に挑戦されると意気込みを語っていただきました。



● 「両親の教え」から学ぶ

バイタリティ溢れ、話し上手、良く動く大きな目が印象的で、人を引きつける魅力満点な「八光殿」三代目社長である。「八光殿」は創立 70 周年の葬儀社であるが、お父様も八尾高校のご出身。話の端々に「両親の教え」という言葉が出てき、本当に尊敬できるご両親の元で育てられた。身を粉にして昼夜問わず働かれたのだそうで、小さいときからゆくゆくは後を継ぐと思って成長されたのだとか。お母様の影響も大きく、「トップはどんなところへも真っ先に出かけていくもの」と有言実行されていたらしい。

大学選びは地域密着の考えから地元の大学。学部は社会と国語が苦手だったので経営工学科に進まれた。そこで当時珍しかった「一太郎」や「Excel」を学べたのも今の仕事の礎となった

そうである。卒業後は京都の葬儀社で所謂丁稚奉公を勤めたが、お父様のご病気で八尾に帰ってこられた。

順風満帆の人生のようにお見受けするが、小さいときは葬儀屋の息子とよくいじめられたそうである。逆風を順風に変えたのは、この方のモットーに依るところも大きいと思う。即ち、心を高め、感謝する気持ちを持つ。謙虚な姿勢を持つ。素直なこころを持ち、成功するまで諦めない気持ちが大事と思いつけること。

会社の経営理念も、「全社員の心物両面の幸福を追求する」ことが会社の発展に繋がるという考え方。行動ではなく、考動することを推奨されていた。



●後輩へのメッセージ

「まず、自分の目的・目標を決めること。そのために何をすべきか考え、自分は今どうしたいのか問いかける事だ」という。

当日撮らせて頂いた写真をお送りするとすぐさまお返事が帰ってき、八尾河内音頭まつりの担当に連絡が必要となればその席で電話するなど、なるほど何事もすぐ考動しての敏腕社長であると領けた次第です。(記事 谷)

